

### 令和元年度の検討事項（案）

#### 1. 検討期間

令和元年6月～令和3年4月

#### 2. 検討事項のテーマ

「新たに改定する印西市環境基本計画に取り入れて欲しいこと」（副題；役立つ印西市環境白書を作成し市民に開示するために）

#### 3. 検討事項にこのテーマを取り上げた理由

##### ① 現 環境基本計画の陳腐化

- ・ 現・印西市環境基本計画は平成25年度から平成33年度（令和3年度）の9年間の印西市の環境基本計画を定めたもので、最近の気候変動の急激化、世界の人口増加に伴う開発大型化による環境悪化などで、我々を取り巻く環境情勢、日本政府の環境方針などからも大きく隔たるものになっている。
- ・ 新しい印西市環境基計画は、令和2年度に新たに設置される検討委員会などで検討・改訂されるが、その場で参考となるように「取り込んで欲しいこと」を提案するものである。

##### ② 低下しつつある印西市の環境の魅力を逆にアップさせる

- ・ 印西市の環境基本計画にうたわれているように「ひと まち 自然 が調和し豊かで安心できる いんざい」の標語のように、市民の財産である「環境」が無防備な開発などにより悪化するのを防止し、逆に規制や市民の意識向上により、魅力ある印西市の環境をアップさせ、印西市は環境がいいから引っ越してきたと言う人を多くする。

##### ③ 規模は小さいが温暖化防止に熱心なまちにする

- ・ 印西市は市の施設からの温室効果ガスの排出削減目標を定め毎年環境白書で発表している。
- ・ 印西市は人口が少ないので法律上は市民の温室効果ガスの排出削減目標を定める必要がないといわれるが、規制がなくても自ら温室効果ガスの排出削減計画を定め、その目標達成に市民と一緒に努力すれば、その効果も出てくるし、同じような規模の自治体へ普及もあり、より温室効果ガスの削減につながる。

##### ④ 平成30年11月に制定された「気候変動適応法」も新しい印西市環境基本計画に取り入れる。

##### ⑤ 生物多様性と環境保全のため努力している市民団体の働きを評価しよう。

##### ⑥ 一般廃棄物の削減に市と市民が努力して取り組んでいる様子をアピールしよう。

#### 4. 今年度の検討時間

- ・ 第5回市民会議；9月20日（約1時間）／第7回市民会議；11月15日（約1時間）
- ・ 第8回市民会議；12月20日（約0.5時間）／第9回市民会議；（20年2月21日）（約2時間）
- ・ 第10回市民会議；3月19日（約2時間⇒合計約6.5時間（残りあとわずか）

以上